

第2章 ネットワーク構成

2.1 回線帯域

今回の実証実験では以下のような実験を行なうことを目的としている。

- ・モバイル IP, 無線 LAN によるインターネットアクセス
- ・マルチキャストを使つての会場間での動画像配信

これらの実験をスムーズに行なうためにも各会場を高速回線で接続する必要がある。特に、メイン会場となるマリンメッセには多くの記者が集中することが予想出来るので、マリンメッセを接続する回線帯域は他会場よりも大きいほうがよいという予測のもと、事前ミーティングにおいて各会場の帯域を以下のように決定した。

- マリンメッセ 135Mbps
- 博多の森 45Mbps
- 県立総合プール 45Mbps
- 西市民プール 45Mbps

百道浜については、元々、無線の実験エリアということもありプレスセンタまでの回線は設置せず、無線を利用する。

2.2 ネットワーク構成

ネットワーク運用実験という意味でも、各会場の回線は会場に一番近い QGPOP

の POP(Point Of Presence) へ接続する。(図 1)

ATM 回線を使用し、各 POP に設置している GR2000 に収容、各会場には ATM NIC を挿した PC-Router を設置する。

各 PC-Router の ATM NIC と GR の間は numbered とし、以下のような VCI を割り当てて論理的に二重化する。(図 2)

表 1

POP	会場	VCI	PtoP
天神	マリンメッセ	120	133.69.132.68/30
	博多の森	125	133.69.132.72/30
	県立総合プール	126	133.69.132.76/30
	西市民プール	127	133.69.132.80/30
九大	博多の森	121	133.69.132.232/30
	県立総合プール	122	133.69.132.236/30
ISIT	西市民プール	123	133.69.132.128/30
	マリンメッセ	124	133.69.132.132/30